

# 大阪市立 北鶴橋小学校

校長名	光井 栄雄
所在地	〒544-0031 大阪市生野区鶴橋3-4-50
電話番号	06-6741-6706
FAX番号	06-6741-0602
HPアドレス	https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671480



北鶴橋小学校は令和9年4月に鶴橋小学校との再編を予定しています。詳しくは生野区役所ホームページをご覧ください。⇒



## 主な学校行事

4月	入学式 始業式 対面式 家庭訪問 新体力テスト 発育測定 避難訓練 学習参観・懇談会
5月	国際クラブ（民族学級・中国学級）入級式、どうぞよろしく集会（たてわり班活動）運動会
6月	創立記念日 たてわり班遠足 学習参観 引き渡し訓練 プール開き 体重測定 ドミノ大会（地域・PTA）
7月	期末個人懇談会 終業式 5年自然体験学習 スリーアイズ大会・益踊り大会（地域・PTA）
8月	始業式
9月	避難訓練 発育測定 学習参観・懇談会 プール納め 室戸台風慰霊の日
10月	遠足（1～5年）6年修学旅行 就学時健康診断 学校公開（説明会）
11月	民族学級・中国学級・国際理解教育発表会
12月	作品展 期末個人懇談会 終業式
1月	始業式 避難訓練 北鶴フェスティバル（たてわり班活動）発育測定 もちつき大会（地域・PTA）
2月	学習参観・懇談会 入学説明会 6年卒業遠足 体重測定
3月	卒業をお祝いする会（たてわり班活動）国際クラブ（民族学級・中国学級）修了式 卒業式 修了式

## 教育目標

心ゆたかな子ども ～よく考える子 助け合う子 進んでやる子～

## めざす子ども像

- 進んであいさつする子
- 話をしっかりと聴ける子
- 進んで学習をし、よく考える子
- 思いやりの心をもち、自他の文化を大切にできる子
- 自分や友だちのよさを見つけ、そのよさを認め合える子
- 進んで健康な体づくりに努め、安全に行動できる子

## 令和5年度全国学力・学習状況調査

平均正答率（％）	国語	算数
	60	56

### 結果概要

【国語】「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる問題」で、全国平均を上回る結果が見られる。このことから、日々の国語科の学習において、中心となる語や文に着目しながら文章を読み取る学習を行ってきたことが成果として現れてきていると考えられる。一方で、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題」では、全国平均を下回る結果となっており、今後も基礎・基本の学習の定着を図る取り組みを実践していく必要がある。

【算数】「百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる問題」で全国平均を下回る結果となった。百分率、割合の学習に苦手意識をもつ児童

## 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

### 種目別平均値

性別	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (秒)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	合計得点
男子	16.92	20.33	34.00	34.92	32.50	9.47	142.08	16.58	48.75
女子	16.73	18.82	40.91	34.55	24.18	10.27	132.73	9.82	49.73

### 結果概要

今回の調査の結果では、大阪市の平均を男子が4種目、女子が3種目上回った。特に握力、上体起こし、長座体前屈は男女ともに大阪市平均を大きく上回る結果となっている。しかし、反復横とび、20mシャトルラン、ソフトボール投げは、男女とも大阪市平均との差が大きく、結果として体力合計点は、大阪市平均を上回ることができなかった。一方で、「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問では、男女とも肯定的な回答をする児童が90%を超えている。また、「体育の授業は楽しい」の質問で、肯定的に回答する児童も、男女ともに90%を超えており、いずれの項目も大阪市平均を上回っている。しかし、1週間の総運動時間は、大阪市の平均より下回っていることがわかった。

## 標準服



## 重点目標

- 総合的な読解力育成に向けた深い教材分析を基盤とした確かな読みの育成
- ICT機器を有効活用した学び合う学習スタイル（GIGA School構想）の充実
- 個性を活かす個別支援（コグトレの活用）
- 豊かな国際社会で「Society5.0」を生き抜く力の育成

## 教育方針

- 4つのC
- Change（変革する）PDCサイクルのつとめ学校行事の変革を行う。
  - Challenge（挑戦する）ひとりひとりの特性を活かしながら、例年にとられず授業改善に挑戦していく。
  - Collaborate（協働する）「ONE TEAM」としてなかまのChallengeを支えていく。
  - Create（創造する）子どもとともに考え、よりよい学校を創造していく。

児童が比較的多く、今後の学習で定着を図っていく。また、デジタルドリルを活用し、苦手な課題に自主的に取り組んでいくことができるようにしていく必要がある。一方で、「正方形・台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題」では正答率が高く、図形領域の学習においてICT機器を活用し、視覚的にわかりやすく学ぶことができるよう工夫していることが一定の成果につながっていると考える。

### ■ 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

国語・算数の学習を中心に、基礎的・基本的な学習の定着を図り、個に応じた指導を行うため、引き続き習熟度別少人数学習を行っていく。また、ICT機器を効果的に取り入れた授業づくりを行い、児童が主体的に学習できるように更なる工夫に取り組んでいく。さらに、教員の資質向上を図るため、ICT実技研修や、授業研究会を計画的に実施していく。こうした取り組みにより、児童が「わかるよこび」を実感できる授業を推進していく。

### ■ 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

- 20分休憩の最後の5分間で、1年を通して「なわとびタイム」を実施した。とべた回数や種目が増えていくことで、子どもたちの意欲が高まっていくとともに、20分休憩の開始時から運動場に出て、遊ぶ児童が増えてきた。
- 3学期には「かけあしタイム」を実施し、寒い日でも1日に1度は外に出て、体を動かす習慣をつけるようにした。がんばりカードに走った距離を記録していくとともに、全校児童を2つのグループに分けて、グループの走った距離の合計を競い合うような取り組みを行ったので、意欲的に走ることができた。
- どの学年の児童も概ね運動をすることが楽しいと感じているが、遊ぶ時間や場所の制約もあり、十分に運動ができていない。また、これまで経験したことのない運動にチャレンジする機会も少ない。こうしたことから、ゲストティーチャーを招聘して、様々な運動を体験する機会を設けたり、地域や保護者と連携し、放課後や休日に運動に取り組むことができるようにしたりしていく必要がある。

## 校長先生のメッセージ

小規模校であるよさを活かした、一人一人に向き合った学校づくりを児童、教職員、保護者、地域が TEAM となって行っています。教室等の学習環境は「GIGA School構想」に則り、先駆的な設備を整えるとともにMIEE(マイクロソフト認定教育イノベーター)教員を複数有し、マイクロソフト本社より ICT を活用した学習を行っている学校として全国で6校しかないMicrosoft Showcase Schoolの1校として2021年9月から2023年8月までの2年間認定されていました。また、デジタル新聞を活用したマルチメディアリテラシーを育む教育も評価され時事通信社より教育奨励賞特別賞を受賞したり、ICTを活用した産官学連携事業のモデルとして全市で紹介されたりするなど、Society5.0を生き抜く力の育成として次のことに重点を置いた教育を推進しています。

- これからの情報社会を生き抜くためのICT活用能力の育成
- 生きる喜び、学ぶ喜びをなかまとともに感じながら生きるポジティブシンキングの育成
- 自他の文化のよさを学び合う「国際理解の学習」を要とした、協働意識の高い国際人の育成
- そのための学習環境と独自のカリキュラムに加え、既存の考えにとらわれない、変化に対応し柔軟な対応のできる学校づくりを行っています。

## ■ 運営に関する計画

### ■ 計画のエッセンス

#### 変化著しい Society5.0 を生き抜く児童の育成

- ICT機器を有効活用した新しい学力観に則った基礎・基本の定着と学ぶ楽しさを得られるための授業改善
- 「国際理解の学習」を要とした、日本や地域のことはもちろん、様々な国や地域の文化について理解し、互いのよさを高め合い、共生していこうとする国際人をめざした人権教育
- 「いじめ」=「人を嫌な気持ちにさせる言動」ととらえ、みんなが気持ちよく暮らせる社会をめざそうとする「心の育成」

### ■ 中期目標、年度目標等

#### 【安全・安心な教育の推進】

#### 基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する割合を90%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

## ■ 「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

### ■ 特色ある学習活動

#### GIGA School 構想に則った、ICT 機器活用に関する先駆的な取り組み

全教室に電子黒板機能付き大型モニターを設置し、デジタル教科書を有効活用した授業をどのクラスでも行っています。在籍する5名のMIEE(Microsoft認定教育イノベーター)を中心に、全学年でタブレット端末を活用した授業を積極的に進めています。また、校内で所有するプログラミングロボットやScratchを活用した、プログラミング教育も計画的に行っています。

#### 学年を超えた交流活動

本校では全校児童112名の小規模校という特色を生かして、学年を超えた交流活動を盛んに行い「心の育成」に力を入れています。春に行う縦割り班で行う全校遠足を始めとして、交流給食等様々な取り組みを行っています。また、登校班を編成し、集団登校はもちろんのこと、毎学期、班会議も行い、縦のなかまづくりに力を入れています。

#### Society5.0 を生き抜く国際感覚の育成

本校には国際クラブがあり、様々な国や地域の文化にふれながら、「互いの文化を認め合い、高め合える国際人の育成」を行っています。国際理解発表会や国際理解週間では国際クラブを中心に様々な国の文化に触れるとともに「だんじり囃子（6年生）」「大阪学（4年）」「身体験」など日本や地域の伝統文化についても大切にしてい取り組みを積極的に進めています。

#### 個の特性を大切に教育の実践

校内に「通級指導教室」が設置されており、近隣校から「ことばの学習」に來られて学習をしています。本校児童は校内に設置されていることもあり、移動時間なく通うことができます。また、高学年算数科においては20名程度のクラスをさらに分割して、10人程度の習熟度別少人数学習も行ったり、認知力強化として「コグトレ」を取り入れたりするなど、個に応じたきめ細やかな学習を展開し、学力の向上を推進しています。

#### 家庭・地域等との連携

##### 地域ボランティアの方々との交流

登下校の見守り隊の活動により、児童の安全の見守りをさせていただきだけでなく、お話の会や土曜授業などのゲストティーチャーとして活躍していただいています。また、「盆踊り大会」や「餅つき」、「ハイキング」など子どもたちを対象とした地域行事も盛んにおこなわれています。

